南富良野小学校便り
やさしく　あかるく　たくましく
なんぷっ子
令和８年度　第７号
令和８年１０月２７日
南富良野町立南富良野小学校
TEL 52-2311
FAX 52-2375
←学校 HP　QR コード

言葉を「ひもとく」秋に

校　長　　馬　場　泰　栄

朝の空気が「しばれる」日も、近づいてきました。「寒い」の一言では言い尽くせない、空気まで凍りつくようなあの感じが、「しばれる」にはこもっています。言葉には、その土地の暮らしと、そこに生きてきた人の実感が詰まっているのだと、あらためて思います。

さて、問題です。「流れに棹（さお）さす」とは、次のどちらの意味でしょう。

「ア　流れに逆らって、勢いを止める　　イ　流れに乗って、勢いを増す」

本来の意味は、イです。船頭が棹で川底を突き、流れに乗って舟をぐんぐん進めていく。そんな風景から生まれた言葉です。ところが、先ごろ文化庁が公表した「国語に関する世論調査」では、約７割の人がアと答えました。「歴史をひもとく」の「ひもとく」も、もとは巻物や書物の紐を解いて読むことですが、「真相を明らかにする」という意味だと答えた人が、やはり約７割にのぼります。

言葉は生き物で、時代とともに変わっていきます。ですから、これはだれかを責める話ではありません。私が惜しいと思うのは、意味が変わることそのものよりも、言葉の向こうにあった風景が見えなくなってしまうことです。川を行く舟、紐を解いて書物を開く手。一つの言葉を知ることは、それを生み、使い続けてきた人たちの暮らしや思いに触れることでもあります。

方言も同じです。北海道では、疲れたときに「こわい」と言い、ごみは「投げる」、手袋は「はく」ものです。「あずましい」の、あのゆったりと落ち着いた心地よさは、共通語ではなかなか言い表せません。調査でも、８割を超える人が「相手や場面によって共通語と方言を使い分ければよい」と答えています。暮らしの中で受け継がれてきた土地の言葉は、地域の宝です。

私は、言葉を大切にすることは、人を大切にすることだと考えています。人は言葉で考え、言葉で気持ちを伝え、言葉で人とつながります。

子どもたちが、「やばい」「べつに」「ふつう」と口にするのをよく耳にします。私たち大人も、同じかもしれません。「やばい」は、おいしいときも、うれしいときも、困ったときも、その一言で済んでしまいます。「べつに」「ふつう」は、うまく言い表せない気持ちを、言葉にしないまま終わらせてしまいます。それでは、本当は何を感じているのかが、相手にも自分にも見えにくくなります。「胸がいっぱいになった」「ほっとした」「心細かった」。気持ちにぴったり合う言葉を持っている子は、自分の気持ちを自分で見つめ、相手に伝えることができます。言葉が豊かになることは、心が豊かになることです。子どもたちには、日本語の豊かさをたっぷりと味わい、それを自分の言葉として使える人に育ってほしいと願っています。

調査には、気になる結果もありました。日常生活で文字を手書きする機会が「余りない」「ない」という人が、約３割いるのです。その一方で、約８割の人が、手書きの習慣を「これからも大切にすべき」と答えています。手で書くとき、私たちは一文字ずつ、言葉を選び、確かめながら進みます。その時間が、言葉を自分のものにしてくれます。手書きの文字に、書いた人の人柄や気持ちがにじむのも、そのためでしょう。

本校でも、自分の考えを文章に書き表す「書くこと」が課題です。授業では、手で書くことと、タブレットなどの ICT を使うことを、場面に応じて使い分けています。じっくり考えを練るときや、文字や言葉を確かに身に付けたいときは、鉛筆を持って書く…調べたり、友達と考えを見せ合ったり、文章を何度も練り直したりするときは、ICT のよさを生かす…どちらも、言葉を大切に使う力を育てるための道具です。この使い分けを丁寧に続け、子どもたちが自分の考えを自分の言葉で書き表せるよう、力を尽くしてまいります。

言葉は、教室だけで育つものではありません。子どもは、身近な大人の言葉を聞き、まねて育ちます。私たち教職員も、日々子どもたちにかける言葉を、よく考えながら使う必要もあります。ご家庭や地域の皆様も、お子さんと一緒に辞書を引く、本を読む、一言の手紙を手で書く、昔からの土地の言葉を聞かせるなど、できることから、どうぞお力添えください。

秋の夜長、親子で本や辞書を「ひもとく」時間を、ぜひつくってみてください。

ＰＴＡ親子レク＆バター・アイス作り

９月５日にＰＴＡ厚生福祉部による企画、親子レク「ドッジボール」（１６家庭、保護者１８名、児童１７名参加。）を行いました。一チーム 7~8 名の総当たり戦で優勝を決めました。エキシビションマッチとして高学年チーム対お父さんチームなどをし、とても盛り上がりました。親子で思い切り体を動かし、たくさんの笑顔と深まった絆を得ることができた１日でした。

また、９月２６日にはＰＴＡ研修部による企画「親子でバター・アイス作り」（２４家庭、保護者２５名、児童３０名参加。）を行いました。容器を振り、食材を混ぜ完成させたときの喜びは別格で、親子で力を合わせ、たくさんの『おいしい笑顔』を得ることができたすてきな時間となりました。

どちらの行事も休日の開催となりましたが、お忙しい中ご参加していただき、誠にありがとうございました。





後期児童総会！

１０月２日に後期児童総会を行いました。児童総会は互いの委員会活動内容を理解し合うとともに、それぞれの委員会については、見通しをもって活動に取り組もうとする意識を身につけることを目的としています。

今回の児童総会では、多くの児童が質問や意見を述べるために列を作りました。委員会の活動をよりよいものにしようと自分の考えをしっかりと伝える姿や、委員会側もその意見を前向きに受け止め、実現に向けて更に問い返す場面などが見られました。

互いの活動内容の理解が深まり、充実した学校生活をつくるための見通しがもてる、有意義な総会になりました。９月３０日～２月１２日の後期の委員会活動が実りのあるものとなることを期待しています。





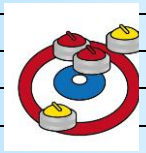
メディアの時間、長くなってませんか？

以前、実施した「生活リズムチェック」では、メディアの使用時間の平均が４０分程度の学年が１つ、１時間前後の学年が３つ、９０分を超える学年が２つという結果が出ました。長時間の利用による、子どもたちの目の健康や生活リズムへの影響が懸念されます。

画面を長く見続けると、視力の低下や目の疲れだけでなく、生活リズムの乱れにもつながります。「画面から 30cm 以上離す」「30 分に１回は遠くを見て目を休める」といった意識が大切です。心地よい秋晴れの日には、外遊びも大切にしながら、ご家庭でもメディアとの上手な付き合い方について、ぜひ話し合ってみてください。

日	曜	１１月から１２月までの行事予定
11/1	日	ノーゲームデー
2	月	教育相談②
3	火	文化の日
4	水	全校朝会　チャレ
5	木	教育相談③
6	金	委員会後②
9	月	カーリング学習４年　保護者個人面談①
10	火	ALT　保護者個人面談②
11	水	チャレ　カーリング学習１年
12	木	カーリング学習２年　保護者個人面談③
13	金	ALT　舞台芸術公演　保護者個人面談④
15	日	ノーゲームデー
16	月	カーリング学習３年
17	火	ALT　がっちりタイム
18	水	カーリング学習５年
20	金	ALT　カーリング学習６年
23	月	勤労感謝の日
24	火	ALT　いじめ根絶集会
25	火	チャレ
27	金	校外班集会・集団下校訓練
12/1	火	全校朝会　参観日１年　ALT
2	水	参観日２年
3	木	参観日３年
4	金	参観日４年　ALT
6	日	ノーゲームデー
7	月	参観日５年
8	火	参観日６年　ALT
9	水	チャレ
10	木	避難訓練　委員会後④
11	金	ALT
14	月	清掃強化種間(~23 日)
15	火	標準学力検査（高）　ALT
16	水	標準学力検査（低）　チャレ





★冬の季節を迎えました。温かい服装で登校するようご配慮をお願いいたします。